



3月号

横浜市立中田小学校 学校だより

第514号



中 田 小	学 校 教 育 目 標 さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます。
令和6年2月29日	中田小ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/



学年末を迎えて

校 長 中村 真弓

中田小学校にも、大谷翔平選手から寄贈されたグローブが1月31日に届きました。6年生の有志児童が「野球やろうぜ!」と投げかけてくれました。現在、各クラスを回っていて、興味のある子どもは触ってみられるようにしています。野球に関心の無い子どもにも、大谷選手の偉大さは印象に残ることと思います。

大谷翔平選手と言えば、高校生の時に「目標達成シート」を作成して目標(夢)を達成した話が有名です。大きな目標を達成するために、必要な要素を細分化し目標実現のための具体的な課題を設定して一つ一つクリアしていく、その意思の強さには感心するばかりです。目標を叶えるためには今何が必要なのかを意識し、誰かに言われるからではなく自ら練習に取り組んでいくのだそうです。野球を始めたときから『僕はプロ野球選手になるんだ』と言い続けてきた大谷選手は常に向上心を持ち続け、アメリカへ渡りその名をとどろかせている今も自分に課題を課してさらなる成長を目指して挑戦し続けているのでしょう。大谷選手は小学生の時から「野球ノート」を書き続けていて、その日みつけた改善点や課題克服のための練習内容などを記録していたそうです。5年生の時のノートには、「ホームランをライナーで打てるように練習したいです。」と書いていたということですから、そのころにはすでに目標を明確にもち、そのために具体的に行動できる子どもだったのでしょう。

今年度は、様々な節目に「『~したい』をみつけよう」と子どもたちに投げかけてきました。日々の小さな目標でよいのです。自分の意志でしたいことをみつけて、その実現のために努力してやり抜く。そして達成感を積み重ねる。そんな経験を子どもたちができることをめざして様々な教育活動を行ってまいりました。学年末のこの時期に、子ども自身が自分の成長を実感できることを願っています。そして、大谷選手とまではいなくても、自分なりの夢をもちやりたいことを実現できる人になって欲しいと思います。

令和5年度も後1か月となりました。保護者、地域の皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様のご理解とご協力なくしては成り立たない中田小学校です。職員一同よりお礼を申し上げます。15日には124名の卒業生が巣立っていきます。これからも地域で温かく見守っていただければ幸いです。

令和6年度も引き続き、子どもたちと中田小学校をよろしく願いいたします。

